



みどり市

2009

2月 5日

NO.10

議会だより



登録有形文化財 上神梅駅(大間々町)

わたらせ渓谷鐵道の上神梅駅は2008年7月8日にプラットフォームとともに国の『登録有形文化財』に登録された。

本屋は木造平屋建てで、大正元年に足尾鐵道の駅舎として竣工、今では珍しい木製の改札口や待合室を当時のまま残し、大正から昭和初期の風情を残す駅として、テレビや映画のロケ地となるほか、全国の鉄道マニアからの人気も高い。プラットフォームは軌道敷からの高さから「760ホーム」と呼ばれ、長さ108mの2段の間知石積みで完成している。

平成20年第4回定例会 (12月)

<主な内容>

一般議案・補正予算・請願 …	2～3
委員会報告 ……………	4～5
一般質問 ……………	6～15
まちの声 ……………	16

平成20年第4回定例会

30議案を慎重審議

会期延長により中小企業融資条例制定案を可決

12月2日開会の平成20年みどり市第4回定例会は、一般会計補正予算案を中心に活発な議論、慎重な審議が行われた。また、急速に悪化する経済情勢に対応するために追加議案の提出で会期を延長、22日の本会議で21日間の日程を終了した。

意見書

【議員発議で定額給付金制度に関する意見書を提出】

未曾有の世界経済不況を受け国内経済も低迷を極めるなか、政府は、追加経済対策および生活支援対策の柱として、約2兆円規模の定額給付金の支給を表明しました。

- 審議結果**
- 可決された議案は、次のとおり
- ◆一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に伴う関係条例整理
 - ◆税条例の一部改正
 - ◆温泉施設かたくりの湯条例の一部改正
 - ◆史跡岩宿遺跡遺構保護観測施設条例の一部改正
 - ◆岩宿博物館条例の一部改正
 - ◆大間々博物館条例の一部改正
 - ◆旧花輪小学校記念館条例の一部改正
 - ◆陶器と良寛書の館条例の一部改正
 - ◆公民館条例の一部改正
 - ◆図書館条例の一部改正
 - ◆笠懸野文化ホール条例の一部改正
 - ◆ふるさと往来センター条例の一部改正
 - ◆童謡ふるさと館条例の一部改正
 - ◆国民健康保険条例の一部改正
 - ◆国民健康保険条例の一部改正
 - ◆中小企業融資条例の制定
 - ◆市道の路線廃止
 - ◆市道の路線認定
 - ◆平成20年度みどり市一般会計補正予算
 - ◆同鉄道経営対策事業特別会計補正予算
 - ◆同国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算
 - ◆同国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算
 - ◆同介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算
 - ◆同簡易水道事業特別会計補正予算
 - ◆同農業集落排水事業特別会計補正予算
 - ◆同富弘美術館事業特別会計補正予算
 - ◆同下水道事業特別会計補正予算
 - ◆同競艇事業特別会計補正予算

人事案件

- ◆同水道事業会計補正予算
- ◆久保田茂子氏（笠懸町）人権擁護委員候補者の推薦に同意

請願

- ◆生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書採択についての請願↓継続審査
- ◆全額国庫負担による「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願↓継続審査

みどり市においても、国会が関連予算を成立させた後、直ちに給付方法や給付金立替のための財源措置を検討する必要があります。また、膨大な給付金事務の他に、振り込め詐欺などの安全対策、住所不定者などへの対応策、個人情報保護対策や返還事務などの対策も講じられていかなければなりません。

平成20年度 各会計の補正状況

一般会計	補正額	4億7855万6千円
	補正後の予算額	177億3856万2千円
鉄道経営対策事業特別会計	補正額	1800万0千円
	補正後の予算額	1億1939万4千円
国民健康保険(事業勘定)特別会計	補正額	6831万3千円
	補正後の予算額	55億4061万4千円
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	2億0484万8千円
老人保健特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	6億9765万8千円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	補正額	435万8千円
	補正後の予算額	29億6431万0千円
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	1836万3千円
簡易水道事業特別会計	補正額	△4万7千円
	補正後の予算額	8014万1千円
農業集落排水事業特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	7099万7千円
富弘美術館事業特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	4億0109万7千円
後期高齢者医療保険特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	6億6458万8千円
下水道事業会計	補正額	1443万2千円
	補正後の予算額	13億8610万1千円
競艇事業特別会計	補正額	7105万5千円
	補正後の予算額	668億5626万5千円
水道事業特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	10億8457万5千円
農業共済事業会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	2億7554万5千円
国民宿舎事業会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	3億5400万0千円

みどり市議会としても、定額給付金財源を盛り込んだ補正予算を成立させる必要があり政府の目指す年度内給付を実現するためには、これらの膨大な事務を遂行するために大きな負荷がみどり市でも予想されます。定額給付金制度を速やかに実施するために、みどり市議会は、国会及び政府に

対し以下の点を要望します。
1 実施の細則を政府が定めること
2 財源を明確にした予算をすみやかに成立させること
3 関連法案をすみやかに成立させること
4 実施主体となる市区町村に極力負担のかからない制度とすること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成20年12月16日
群馬県みどり市議会議長 藤生 英喜
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 大蔵大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣 国土交通大臣 環境大臣 経済産業大臣 建設大臣 防衛大臣 外務大臣 国際協力大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣 国土交通大臣 環境大臣 経済産業大臣 建設大臣 防衛大臣 外務大臣 国際協力大臣

第4回(12月)定例会の日程

- 2日 本会議
 - 請願各委員会付託
- 市長提出議案上程
- 4日 本会議
 - 一般質問 5名
- 5日 本会議
 - 一般質問 5名
- 8日 本会議
 - 一般質問 5名
- 16日 本会議
 - 市長提出議案への質疑・討論・採決(一部常任委)
- 10日 民生福祉常任委員会
- 11日 経済建設常任委員会
- 12日 総務文教常任委員会
- 16日 本会議
 - 常任委員長報告への質疑・討論・採決
 - 議会提出議案への質疑・討論・採決
- 22日 市長追加提出議案上程・質疑・討論・採決

皆様の傍聴をお待ちしています

議会では、市の様々な計画はもちろん、市民の皆さんの生活に密着したことがらが議論されています。市民の皆さんに親しみある議会となるために、大勢の傍聴をお待ちしています。また、ご意見ご要望もお寄せ下さい。

問い合わせ先
みどり市議会事務局
(大間々庁舎)
☎(76)1970



総務文教常任委員会

所管事務調査



▶菊池市役所にて

平成20年度の総務文教常任委員会の所管事務行政視察を実施したので、次のとおり報告する。

調査年月日 平成20年9月28日(日)から30日(火)

視察地

- (1)熊本県菊池市(9月29日)
- (2)熊本県芦北町(9月30日)

目的

- ①菊池市あいのりタクシー・べんりカーの実施状況について
- ②芦北町立佐敷小学校の耐震・防犯体制について
- ③菊池市あいのりタクシー

・べんりカーの実施状況について

◆市街地を巡回する「べんりカー」は2系統あり、停留所は46か所で、巡回の一周に要する時間が75分だが80分間隔で出発している。

◆車両は、いわゆるマイクロバスの車両を用い、運賃が1乗車100円であるため、1便当たりの平均利用者数は、3年間連続して11人を突破している。

◆連休日は日曜・祝日・振替休日及び年末年始。

◆あいのりタクシーとは、中山間・山間地域から市街地方向へ向けて、事前予約により一週間に3日間限り(地区ごとに月水金と火木土に分けて)、1日に3往復しているタクシーのこと。

◆路線バス運行を行っている経費と比較して1800万円の経費節約に成功し、直近1年間の全運行経費見込みは2600万円となっている。

②芦北町立佐敷小学校の耐

震、防犯体制について

◆耐震性能については、学校施設であるということから、建設基準法で通常想定されている係数を1・25倍に割り増ししているという。

◆防犯体制については、監視カメラ4台を設置し正門・通用門・校庭を職員室から監視している。

◆職員室のある管理ゾーンから、正門・通用門・校庭が一望に確認できるよう設計されていて、常に職員の目が届くような配置になっている。

◆町では建築係に一級建築士2人を擁して同様事業に担当させている。

◆別の観点での質問では、合併によって増加してしまつた職員数削減対策が急務とされており、学校にあつては児童数が極端に少ない学校の統合対策などが問題となつているとのこと。

◆以上のような視察結果をふまえて今後の委員会活動をより充実したものとすべく、意義ある研修ができた。

民生福祉常任委員会

付託された議案

第15号 生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書採択についての請願について

第17号 全額国庫負担による「最低保証年金制度」創設を政府に求める請願について

審査結果

本委員会は、12月10日、15日委員全員出席のもと開催した。第15号に対し、物価は落ちつきを見せている。むしろデフレーション化している。生活の安定という事に国策が求められる。経済のグローバル化等に潜む恐ろしさも考えなければならぬ等、尚もって調査する。結果継続審査とした。

第17号に対し請願内容は理想的だが、年金制度そのものが未整理である。財源的にも(20兆円)制度破綻を招くのみではないか、義務と権利の関係もあり、制度

所管事務調査

平成20年10月8日から10日まで、所管事務調査を実施した。

視察地

北海道伊達市

目的 高齢者の移住・安住促進事業伊達ウエルシールド構想について



▶二セ「町役場」にて

「北の湘南」と呼ばれるこの地ではあるが、少子高齢化が確実に進む中その施策として「伊達ウエルシーランド構想」がスタートした。構想は医療、教育、商業施設などの生活環境を中心に考え住みやすさを一歩進め住んでみたい、住んでみようととの視点、さらには高齢化をプラス思考で考え、①高齢者が住んでみたい町②女性・若者の働きがいのある町③働く人が住んでみたい町、つまりは安心な魅力ある町づくりを3本柱として、行政と民間がタイアップし功を奏し進行しているところである。本市とは、地の利は違うものの高齢化を否とせず、前向きな伊達市の取り組みは賛同賞賛する。今後のみどり市の施策の一助を得た。

視察地

北海道ニセコ町

目的 まちづくりに関する施策について

ニセコ町は、全国初の「まちづくり基本条例」を制定施行したことから、内閣府の調査で目標とする「市

所管事務調査

平成20年10月15日から17日まで実施

研修地及び研修内容

鹿児島県屋久島町議会

①森林の自然環境保護と観光行政について

鹿児島市「ソフトプラザかごしま」

②産学官による地域経済の活性化について

屋久島町宮之浦支所にて、

研修テーマについて詳細な

説明を受け、質疑応答と意見交換を行った。この島に

は、縄文杉をはじめ、世界の宝といわれている豊かな森林がある。過去の森林開

設置し住民参加を呼びかけていることから、行政に対する住民の満足度は58%に及んでいる。本市としてもタウンミーティング等行政懇談会は設けるものの参加者は決して多いとは言えない。市民の意見が聞けるよう、さらなる工夫が求められている。

経済建設常任委員会



▶屋久島町宮之浦支所にて

発から自然資源の保護へと住民と共に「人と自然の共生」を実行している。平成5年に、この貴重な自然資源と保護運動が評価され、

世界自然遺産に登録された。登録により、島への訪問客が増え、島全体の経済効果が出たが、山岳地域のし尿処理の課題、そして環境や登山道の荒廃などが起こっている。また鹿による草木への被害も増え、駆除対策にも取り組んでいた。地球温暖化防止と森林との関係、また、森林保護と観光行政を考える意味でも、山林をかかえるみどり市にとって、大いに参考になる研修であった。

次に鹿児島市内の産官学により情報関連産業の育成と支援に取り組んでいる「ソフトプラザかごしま」で調査研修を行った。情報関連産業を市の経済発展を担うリーディング産業と位置づけて取り組みを行っている。市内の創業間もない情報関連企業などに、情報通信基盤の整ったオフィスを安い使用料で提供し、新規独立事業者や雇用の創出などに貢献している。みどり市の周辺には、群馬大学工学部や足利工業大学があり、すでに新しい技術や産業の

研究開発に取り組んでいるが、桐生大学も誕生し、産学官の連携にも力をいれて地域経済の活性化のために生かして行きたいものである。

その他の活動と協議事項

10月3日 桐生市議会産業経済常任委員会と合同研修（みどり市にて）

10月14日 小池物産（株）の業務休止について

11月7日 東地区営農飲雑用水施設工事に關して・現地視察（ふるさと農道）

11月14日 桐生市議会産業経済常任委員会と合同研修（桐生市にて）

11月17日 20年度上半期の業務報告（競艇事業・水道局・富広美術館・サンレイク草木）について・工事請負契約の締結について・道路未登記処理状況他

12月11日 東地区営農飲雑

用水施設契約状況・現地視察（白倉沢浄水場・陶器と良寛書の館・わらべ工房）

12月16日 市道路用地寄附受け入れ基準の一部改正について・みどり市中小企業融資条例の制定について

Q 管理委託料の見直しを

A 様々な角度から考えたい

新井 巖雄 議員



浅原体験村の運営

問 体験村設置の目的と建設費の総額は。

産業観光部長 過疎地の遊休農地対策、都市住民との交流による地域の活性化を目的としている。建設費は総額約2億7700万円。旧大間々町の負担額は約1億4000万円となる。

問 貸農園は110区画あるが使用されていない畑がかなりある。使用されていない畑は返還してどうか。現在の利用状況は。

産業観光部長 利用されているのは45区画。空き農園は

体験村が、みやげ用の野菜栽培や、いも堀り体験に活用している。

問 19年度決算では、歳入は借農園使用料約62万4000円。歳出は管理委託料、借地料で約437万7000円となる。委託料300万円にたよった運営だ。施設の老朽化が進めば修繕費など、市の負担も増える。市全体として補助金の見直しも進めている。委託料の見直しも必要ではないか。

市長 補助金だけでなく、様々な角度から考えたい。

小平の里の運営

問 平成19年度決算では歳入は使用料約1882万円。歳出は管理委託料、借地料等で約5217万円となっている。建設費の総額は。

産業観光部長 昭和63年にオープン以来、総額約11億1千万円。旧大間々町負担額は約6億4000万円と

なる。

問 売店に魅力がない。小平の特産物としての特徴を持たせる努力が必要だ。手作り味噌を売り出すなど、特産物作りを考えては。

産業観光部長 特色ある商品作りに積極的に対応するように指導したい。

Q 乳幼児福祉医療費拡大は

A とても厳しいが検討

宮崎 武 議員



問 鍾乳洞公園、親水公園等、市民公園としての役割もあるが、観光産業としての厳しさを持った経営努力をしてほしい。

産業観光部長 もっと宣伝もしなくてはならない。また自然を生かし、アイデアを生かし、収入増につながるよう努力したい。

○その他の質問
し尿処理の現状と対策



▲浅原体験村

1、さまざまな経営努力を図り存続の道を探るのか。
2、どこかの段階で一切終わりにするのか。

市長 回答すると1番の経営努力で存続の道を探りたい。

問 人件費支出は売り上げの35%以内でないと赤字経営で倒産と言う結果になっ

産業観光部長 現状は52%

で、人件費削減は早急に検討しなくてはならない重要課題と認識。

問 調理等の業務委託を検討し指定管理者制度等をも模索し、サンレイク草木の財政再建、存続に取り組み抜本的な検討が出来ないのか。

産業観光部長 副市長をリーダーに検討委員会を持ち協議中、業務委託等も検討

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



常見 詔子 議員

Q 国保税滞納世帯にも国保証の発行を A 相談の中で情のある対応をする

問 中学生以下の子どものいる世帯で、国保税滞納のため資格証明書になっている状況は。

民生部長 11月初めで10世帯11人。全体では206世帯。一年以上の滞納で納税相談にも応じない世帯に発行している。相談の中で失

問 中学生以下の子ども業や病気など考慮して一ヶ月から四ヶ月の短期保険証を発行している。

問 全国1798自治体の約30%にあたる551市町村（広域連合一つ含む）で医療を受けるとき10割負担になる資格証明書の発行をしていない。みどり市の考

中であり提案の内容も十分考慮していく。

問 デマンドバスのみどり市独自の名称は検討されているのか確認。

市長公室長 早期に検討し市民に分かりやすい名称を決定したい。

問 笠懸大間々地域にデマンドバスが運行すると東町が現在利用中の「過疎地有償運送」を改善しないと格差が生ずるがどうするのか又、ベースを「荻原、花輪、小夜戸小中」と「神戸、草木、沢入」の二箇所を増設し利便性を増進できないか。

市長 早期に検討して善処していく。

問 【乳幼児福祉医療費拡大】少子化対策の中で重要な福祉施策であると思っ

市長 早期に検討しているが市長に確認する。本年度、3年間拡大した通院費を小学校6年生までに拡大した場合、市独自負担の3300万円について現状では、とても厳しい。なんとかやって見たい。とても厳しいが検討したい。三択で回答を。

市長 とても厳しいが検討したい。



▲歯科検診

えは。

市長 モラルハザートにならないように、精査したうえで情のある結論を出していく。

Q 桐生市との共同事業の覚書の確認は

A 市長就任後、消防署のやり取りで

問 平成17年1月28日付の共同事業に関する覚書が県の仲介で結ばれているが。

市長公室長 合併協議のなかで結ばれた。関係部署は承知している。

副市長 前回の9月議会で改めて確認した。勉強不足であった。

市長 市長に就任して、桐生市とみどり消防署のやり取りのなかで知った。

問 共同事業覚書の第三条にある会議の開催は。

市長公室長 清掃センター事業、斎場事業、し尿処理事業、農業共済事業、常備消防事業の委託、受託について、事業の実施方法や負担割合など重大な事項がなかったため、会議は一度も設けていない。



▲桐生みどり消防署

問 協同事業は委託料の算定の中で負担が決められている。桐生市とみどり市は負担割合が違っても対等だと思ふ。消防署の名称は会議にかけるべきでは。

総務部長 名称は「みどり消防署」と桐生市へ要望した。

その他の質問

- みどり市の教育について
- ①就学援助制度について
- ②幼稚園の3歳児保育について
- ③学校給食について
- ④学校統廃合について

Q サンレイク草木の経営展望について

A 前年同期に比べ1000万円の赤字増加

大澤 映男 議員



問 サンレイク草木の経営展望について、今年の3月に5000万円を補助金として税金投入したが、3年後には黒字になるとの事だったが今現在のサンレイクの経営状況はどうなのか。

産業観光部長 現在の状況は宿泊人数は4月から10月までで6・6%減、前年同期での比較として売上は11%減、費用は約5%減、損失は65%増、つまり前年同期に比べ1000万円赤字が増加している状況で20年度も苦戦を強いられている。

為に人気がなくなって来た。これはサンレイクだけではなく全体的にそうだったとコンセプトにうたわれている。今後10年間で改善が計れない時には廃止等も含めた存続の意義や必要を再検討するというのが10年間も考えなければ改善できないのか。また、改修工事はいの合併協議で精査した3億円程度とあるが、3億円かけて改修する意思があるかどうか聞きたい。

産業観光部長 現在のところ明記されている様に3億かけて改修する方向には至っていない。まだ検討委員会で、今後どのように扱うかで検討中だ。

問 あの事件から1年以上経ったが、監査報告で現金の管理体制を見直す様に指摘されたところがあるが、これはどういう事か。また、7月末にも修正報告を受け、修正内容を明らかにすると共に

に至急会計処理ソフトを活用の改善策を利用する様に指示を出されたが、9月にも適切な資料提出がされず当月に至っても検査をやっていないとはどういう意味なのか。

産業観光部長 6月の現金扱いに対しての課題は、現

Q 過小規模校のトップダウンの決断は

A 検討委員会の結果報告を待ちたい

鍋木 豊 議員



1年生8名は全て男子、2から5年生は各学年5名、6年生は4名。男女バランスの悪い学年が多い。

問 複式解除の対応は。

教育長 2組の複式学級があり、市費でマイタウンテイチャーを雇い、担任に充てている。

問 32名で学校教育が機能していると思うか。

教育長 小規模校の特色を

金を少し長くの間、金庫に置いた事だ。会計処理ソフトからの出金、出力調書は月例の監査報告の方法が適切でないで現在作成中だ。

大澤 以前問題が起きた時の職員がどんな研修を受けたかは分からないが、二度と事件にならない様、十二分に注意を図って頂きたい。

その他の質問

○笠小のマンモス化対策について



▲サンレイク草木

最大限に生かした学校経営で十分に機能していると考えている。しかし、児童間における多様な人間関係、社会性を高め自らの個性や能力を発揮できる学校規模としての観点からみると小規模校過ぎると考える。

鍋木 学校適正規模検討委員会の視察時、4人のクラスに2人の教師がいた。今は良いが中学校でのドロツ

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



高草木 良江 議員

Q 出産祝い金や子育て支援給付金事業の導入は A 支援策を講じていきたい

問 第三子以降の子育て支援は各自自治体が工夫して実施している。第三子以降の保育料無料化・軽減化事業の考えは。

民生部長 本市は国の基準に基づいて実施している。もう少し各市町村の動向を見たい。

問 出産祝い金の支給事業や子育て支援給付金事業の導入の考えは。

民生部長 21年度の予算編成の中で第三子以降の支援策を重点項目とし、現在出産祝い金等の検討をしている。みどり市としても組入れて21年度から支援策を講

問 福岡西・神梅地区の浄化槽事業の状況は。また、みどり市の今後の考えは。

都市建設部長 この地区は市になつて農業集落排水事業を廃止し、代替え事業として平成21年度から市町村型浄化槽設置事業の実施を予定している。現在は条例・規則の整備、国県へ申請する整備計画書等の作成準備をしている。みどり市として今後、公共下水道の普及、合併浄化槽への転換の



▲2歳児健診風景

プアウトが心配される。

問 児童の居住地区（4地区）について。

教育長 深沢4名、中神梅1名、下神梅3名、末田（市営住宅）23名、地区外から1名。

問 児童1名に掛かる教育費は。

教育部長 平成20年度予算の学校運営費、管理費で見ると、神梅小は1人当たり約57万円で、笠懸小は3万3400円。

問 様々な角度から悠長なことを言っている場合ではない。今こそ、過小規模校に対しての市長のトップダウンの決断の時だと思うが、市長 現在、適正規模検討委員会での検討の最中であり、トップだからといって今、決断するのは僭越（せんごつ）だと思う。委員会に可及的速や



▲神梅小6年生の授業風景

かに結論・方向性を出していただくよう働きかけをして行く。

その他の質問

○食の安全と健康

○桐原宿交差点の早期改善

じていきたい。

問 世帯主が国保税を一年以上滞納した場合、保険証と引き換えに交付される資格証明書は、医療費はいつたん全額自己負担が強いられ、子どもの無保険状態が懸念されることから、県内では沼田・前橋・桐生・館林市が子どもに保険証を発行している。本市はできないか。

市長 本人の責任ではない部分。財政の問題、法、福祉、医療の精神も鑑みて方向性を出したい。前向きな検討に十分値するものと認識している。

問 福岡西・神梅地区の浄化槽事業の状況は。また、みどり市の今後の考えは。

都市建設部長 この地区は市になつて農業集落排水事業を廃止し、代替え事業として平成21年度から市町村型浄化槽設置事業の実施を予定している。現在は条例・規則の整備、国県へ申請する整備計画書等の作成準備をしている。みどり市として今後、公共下水道の普及、合併浄化槽への転換の

推進をしていく必要性があると考えている。

問 桐生市では浄化槽設置補助金交付の他に、設置資金を50万円以内、無利子で貸付をしているが、今後本市において考えはあるか。

都市建設部長 他の市町村の状況を見ながら検討していきたい。

その他の質問

○第三子以降の子育て支援に市営住宅への優先入居事業の導入を

○子どものインフルエンザ予防接種に助成を

○子ども救急医療電話相談窓口を広域の中で開設を

Q 民生児童委員のなり手不足の解消策は

A 働きやすい環境づくりを考えていく

上岡 克己 議員



「げかけていきたいと考えている。」

問 生きがい対策の一環として、高齢者大学では、どのような取組みをしているのか。

教育長 一人一人が健康で豊かな生活を送るために、社会参加と役割を学びながら、社会に還元するなど生きがいのある生活実現のための講座を開いている。今後、学習ニーズの多様化する中で、たくましく、健康な老人パワーを引き出すことを考えている。

問 長寿社会を元気で退屈のない人生を送ることは、老人医療費の引下げに役に立つと考えるが、高齢者の生きがい対策は。

民生部長 いろいろと施策を講じているが、健康増進のために、老人クラブへの活動支援、また、シルバー人材センターへの運営助成を行っている。

問 楽しむだけでなく、豊富な経験や知識を生かし、社会貢献につながるような指導、助言はできないか。

民生部長 社会福祉協議会の協力を得ながら、交流の場づくりを、各種団体に投

は。

民生部長 民生児童委員の経験者や区の役員会を開き、その相談結果を受けて区長が推薦している。

問 民生児童委員の仕事が多くなり、他の自治体ではなり手不足が深刻になっている。将来的には、市も直

面することが予想されるが。

副市長 日頃から民生児童委員の皆さんには、感謝している。どうしたら軽減できるのか模索している。

市長 大変な仕事で敬意と感謝をしている。なり手不足の解消策について、東京都では、民生児童委員のサポート役として、協力員制度を設けている。働きやすい外的環境を整えることが大切であると考えている。

Q 桐生市との合併について

A じっくりと冷静に考える

山口 慶一 議員



ている旨聞いているが。その要望書に対する扱いはどのように行っているのか。

市長公室長 担当部局として要望書は受け取っているが、返書等の処置は、とっていない。

問 受け取ったままか。

市長公室長 そうだ。

問 市長としてはそれぞれ要望書に対し、また桐生市との合併についてどの様に

考えているか。

市長 要望書提出の諸団体の代表者とは出来るかぎり話をさせていた。合併問題でヒートアップしていた時期はともかく、現在クールダウンしてる今、じっくりと冷静に考える良い機会だ。

問 職員の人事交流の状況は。

総務部長 県や他市への派



▲寿大学(東町)

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



荻野 忠 議員

Q 三年目で英断が求められているが A メリハリをつけて取り組む

遣は8名、受け入れは10名
で有効に機能している。

桐生みどり消防署について

問 2町1村の合併時、笠懸に体育館、大間々に総合保健福祉センターの建設の協議が行われた。待望の体育館は完成の運びとなった。次の福祉センター建設についてどう考えているか。みどり市総合計画において、総合保健福祉センター整備計画の調査検討に着手するところがあるが当局としてはどのように考えているか。

民生部長 総合保健福祉センター

ンターに関して建設費のこともあるし今は位置づけだけで当面は調査検討はなされていない。

問 全世界の不況の波が日本にも及びここみどり市にも押し寄せて来ていると思うので市ではこの現状、そして中小企業に対する対策は。

産業観光部長 185種の業種より618業種を対象を広げなるべく多くの業者に便宜を図るようやっている。尚金融関係に特に中小企業の人達に話をしていただくようお願いしている。



▲桐生みどり消防署訓練塔

問 この急激な景気減速をどのように受け止めているか。

産業観光部長 各経済指標は悪化しており、非常に悪い状況だ。

問 予算編成にも大きく影響を与えると思うが。

総務部長 市税の減収、滞

納増など市の財政にも影響が出てくると思う。

問 市内の農、林、商、工業者への早急な景気支援策が必要だ。公共事業も市内の業者が受注できるように対策を。

都市建設部長 前倒し事業もあり、地元業者の活用を

していきたい。

問 市のブランド認定だが、認定しただけでは意味が無く、認定品ブランド力の向上や売り込み策は。またQRコードを利用して良いのではないか。

市長公室長 補助金の交付要綱を作り、支援をして行く。また、QRコードは検討したい。

問 一般行政職で、当市は1000人当たり4・9人。玉村町3・8人、前橋市4人、高崎市4・4人。最低1割カットの人員で、少数精鋭で効率のよい組織を目指すのでは。

総務部長 最小限の人数で最大の効率を目指しているように検討する。

問 市長部局の統合はどうした。弊害が多いと、合併後に職員からも指摘されていたが、慣れとは怖いものだ。厳しい財政状況の中、経費削減と事務効率の悪い点はスピードを持って取り組むべきでは。

市長公室長 4庁舎で行っていて、ある程度の非効率性は承知しているが、小

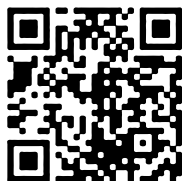
な改編で機能的な組織を目指している。

問 サンレイク草木だが、国民宿舎としての役目は施設の老朽化と共に、転換期を迎えたと思う。検討する検討するでは、手遅れになる。民間経営者での組織諮問委員会の設置をすべきでは。

市長 庁内の検討委員会の結果により考えたい。

問 地球温暖化防止策は重要課題であり、CO2削減のために公用車の入れ替え時に環境に優しい車の導入を優先すべきでは。

市長 桐生市長の公用車がLPガス車で試行運転をしているが、環境PRの面から面白いと思う。



携帯版みどり市立図書館のQRコード

Q 商工会合併は

A 速やかに合意形成を望む

古田島 和茂 議員



問 「市町村」合併に伴い

各自自治体にあった商工会の合併が求められている。一行政区に一経済団体の基本から既に成された所もあるが成功したとの声は聞こえてこない。商工会の役割は地域経済の根幹をなすものであり会員のためにあるものである。市は市内3商工会の合併を早期に望むのか、市長は任期中に方向性を出して欲しいとの意向であったが。

産業観光部長 3商工会の

は厳しい環境に直面している。商工会の企業支援機関としての役割がますます重要になっていくため効率的かつ効果的な事業の実施等小規模事業者に対する指導体制の充実を図り組織体制を拡大強化する必要がある。合併はそのための有効な手段と捉える。

市長 経済団体である商工

会の合併にはある程度の時間が必要だが組織体制の拡大は成すべき。現状を踏まえ合意形成を速やかに図っていただきたい。

問 合併検討を含めた商工

会活動への市の参画は、合併した場合、会員離れ等逆効果が考えられるのでは。

産業観光部長 3商工会で

は幹事会を立ち上げ市としては担当課がオブザーバーとして参加させて頂き、研修にも加わっている。合併によるデメリットは考えられるが経済団体である商工

会が一つになり、より強固な組織に生まれ変わり今後厳しくなるであろう中小企業への支援活動が迅速に進められる事を願う。

期成同盟会

問 山村資源の開発と森林整備によるCO2削減を含

Q 笠小の大規模化解消策の最終結論はいつ

A 秋までに結論を

小内 信一 議員



問 みどり市立学校適正規模検討委員会から(※笠懸小の大規模対策として①長

めたエコロジーには必要な林道整備に対し期成同盟会の働きが重要。既存の計画変更等経費削減を視野に入れ事業進捗すべきでは。

都市建設部長 引き続き関係機関へ働きかけて行き、早期開通を目指す。



▲大間々商工会館

期展望では学校新設が望ましい。②短期展望では校舎増改築、学区の再編」との報告書を受けているが、市教育委員会として最終的にどの時点で結論を出すのか。

教育長 大規模校と小規模

校の両方の問題が絡んでいる。遅くとも秋までにはと考えている。できる限り早く考えている。

問 笠懸小通学区の区関係者に今年は会議も報告もないと聞くが。

教育長 市教育委員会では

今月、保護者アンケートを行う。1月にPTAや地元区長と行い、2月には市議会と意見交換して方向性を決めたい。

問 市長部局の対応につい

て、教育部局と笠小問題で会議を持ったか。今後の計

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



金子 実 議員

Q サンレイク草木の抜本的経営改善を A 公務員制度で限界が

問 市長は、地域振興・地域拠点として経営努力をし、存続の道を探りたいとの考えだが、補助金5000万円の支援以降どのような改善策を講じてきたか。

副市長 緊急的取り組みで職員3人を異動した。1月に数人を異動し一層の人員

問 市長は、地域振興・地域拠点として経営努力をし、存続の道を探りたいとの考えだが、補助金5000万円の支援以降どのような改善策を講じてきたか。

副市長 緊急的取り組みで職員3人を異動した。1月に数人を異動し一層の人員

費削減を図りたい。集客対策は、銀座の県施設を拠点にPR活動の拡大と国土交通省の関東観光まちづくりコンサルタント事業の位置付けを受け、地域とともに取り組んでいる。

問 昨年度は8000万円の赤字。今年4月から10月

で2600万円の累積赤字だ。当初収支計画が半年でとん挫しているが見込み違いの原因は。

産業観光部長 近隣温泉施設格安パックや日帰り温泉等の価格競争で客の選択肢が広がり、その影響や光熱費・原材料費が上昇した。当初計画が甘かった。

問 年度末には大きな累積赤字が見込まれる。今後の運転資金と新年度の経営は、再度数千円の税金投入を継続するのか。

副市長 再度の税金投入は理解されないことは十分理解している。検討委員会で論議を進めており、しっかりと計画を示し経費への理解を得たなかで事業継続をしたい。

問 課題解決に具体的取り組みがされていないのが大きな課題。執行部と現場の意思疎通や連絡調整が機能しているのか疑問だ。

副市長 支配人には現場の声を吸い上げるようお願いしている。職員の不安を除くよう一刻も早く方針を出す責任を認識している。

問 経営圧迫の原因は人件費。利用人員は減少しているが、人件費は事業収益の52%に達している。大胆な改革なくして事業継続は無理では。

副市長 営業収益を越えた人件費の支出は重大な経営欠陥で、抜本的な経営改善が鍵。しかし施設の老朽化、業界二極化で非常に難しい。また、公務員制度のなかで改革には限界がある。

問 集客対策で利用券の発行計画があると聞くが、その目的や運用は。

産業観光部長 冬期限定利用券で、5000円券を1000枚発行し、5000円のプレミアム付で検討している。

問 再度の税金投入は、市民が納得できる経営改善と実行が必要。管理委託・施設改修の前に経営健全化が先決では。

市長 管理委託・施設改修の前に経営健全化があることは理解している。議会とも議論し、経営健全化に最優先で取り組みたい。

画はあるのか。笠懸町時代からのあやまちを繰り返し返さないように調査研究が必要と思うが。

市長公室長 今までに笠懸小の大規模校対策についての対策会議はない。今後もある。有識者らの学校適正規模検討委員会や市教育委員会の自主性を尊重して行きたい。

問 学校適正規模検討委員会の報告書を受けているのに、なぜまた保護者にアンケート調査を取るのか。

教育部長 5月に報告を受けて教育委員会は毎月色々の問題を話し合ったなか、

市長 笠懸小の問題は20、30年の懸案事項であり、子どもの教育問題である。大人と子どもの時間の流れは違っているので、子どもの目線で考えて行きたい。今は、教

保護者や地域から具体的な要望がないとの意見があり、アンケートを取って保護者、PTA、地元区長、市議会と話し合い結論を出して行きたい。

問 将来のみどり市を担う児童教育の平等の為に、早急な決断の時期に来たと思う。そろそろ石原カラーを示す時期ではないか。

市長 笠懸小の問題は20、30年の懸案事項であり、子どもの教育問題である。大人と子どもの時間の流れは違っているので、子どもの目線で考えて行きたい。今は、教



▲雨の登校

育委員会の指針を待つて判断したい。

その他の質問

- 食の安全対策
- 自給率向上と後継者問題
- 地産地消支援対策
- 農業機械の軽油免税制度

Q 大間々給食センターの整備計画は

A 平成22年度には新築したい

椎名 祐司 議員



可能な公園整備を再度要望したい。

市長 可能であれば取得をして、所有関係をきちんとした形で市としての利用方法を考えたいと思っている。

高津戸都市公園整備事業 について

はねたき広場隣接地の用地取得について

問 景観法の観点からも、現況のように無秩序な土地利用が、このまま行われていくのか市長の見解は。

市長 要害山を含めた高津土峽近辺については、景観法を重視しながら開発を進めるべきだと思っている。

現況のような土地利用が行われないように、市としてもルールに則って指導していきたいと考えている。

問 地域住民の憩いの場として、さらには、健康増進、生きがい対策の一環として、グランドゴルフ等にも利用

る。②食数は3000食程度③敷地は現在の約1.5倍位④大間々町内の市有地を中心に候補地を検討している。平成21年度に内容を決定し、平成22年度には新築していきたい。

耕作放棄地の色分け区分 について

Q 公立幼稚園の子育て支援の役割は

A 家庭全体に開かれた幼児教育センターを

原田 好雄 議員



問 田園都市を標榜するみどり市として、都市計画マ

問 市が行った耕作放棄地全体調査において、「非農地」と判断された土地の登記簿上の地目変更や固定資産税上の扱いはどうなるのか。

産業観光部長 「農地」に該当しないと判断された場合は、「非農地通知書」を所有者に送付し、登記簿の地目変更登記を行うよう要請することになっている。



▲大間々給食センター

政が求められている状況が。

都市建設部長 未線引きを要因とした郊外開発が広がり、今後は都市計画制度を用いた規制誘導が必要。都市計画マスタープランと併せて用途地域や特定用途制限地域など土地利用上の制限も検討していきたい。市街地が郊外に広がる中で、ライフラインの整備で経費を要している。市として有

効的な財政投資を考える上からも一定程度の規制が必要ではないかと考える。

問 市民にとってマスタープランの設定によって、産業振興など夢や希望の持てる具体的な施策につなげて

都市建設部長 土地利用についてどう考えていくかだが、効率的財政投資、集中的プランからみれば線引きが必要。しかし現状では、

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



坂本 正幸 議員

Q 桐生・みどり市共同事業に関する覚書の存在について A 大変重要な書類と認識、今後も周知徹底を図る

問 合併後の住民生活に深く係る清掃センター、し尿処理、消防、斎場、農業共済、共同五事業における覚書について市長、公室長の認識について。

市長 覚書を見たことはあるが内容について十分な理解をしていなかった。

市長公室長 締結した経緯から重要書類と認識している。

問 し尿処理、消防分署建設事業において、覚書の条項が守られていないのでは。

民生部長 事業内容の変更、委託料金の見直しの場合、覚書が適応されると認識している。

問 婦人消防隊解散は東地域の防災組織体制、士気の低下を招いている。市の責任において対応すべき。

総務部長 自主防災組織等、特に東町の場合、消防団OBを視野に入れた機能別団員を検討したい。

坂本 婦人消防隊解散に関し市民の声に対する市の答



▲防災訓練

ている。

総務部長 事業計画については、委員会等通じ報告してきた。覚書については承知している。

問 覚書の存在内容について、市長、副市長に引き継ぎが出来ていない。また、担当課においても認識不足が発覚等、周知徹底されていない。

市長公室長 その件については反省と謝罪をしたい。今後しっかりと引き継ぎをしていきたい。

問 婦人消防隊解散は防災体制の後退、区長会、議会で協議しなかったのは何故。

総務部長 区長会の際、その他の協議事項としてはなかったのではないかと認識している。

問 婦人消防隊解散は東地域の防災組織体制、士気の低下を招いている。市の責任において対応すべき。

総務部長 自主防災組織等、特に東町の場合、消防団OBを視野に入れた機能別団員を検討したい。

坂本 婦人消防隊解散に関し市民の声に対する市の答

県は線引きに該当する地域とは判断していない。

市長 市として新たな線引きをする考えはない。用途地域を活用していく。マスタープランも総花的になつて、画一的に他の街と同じようにするのでなく、特色を出しながらメリハリを付けて都市計画づくりを進めたい。近隣市とも協力しながらあるべき姿を探していきたい。

問 公立幼稚園が子育て支援として持つ役割について、今後の取り組みは。

教育部長 これまで培ってきた幼稚園の機能と役割を家庭全体に開いていく幼児教育センターを、子育て相談を含めたもので設置できればと考える。市内の保育園、私立幼稚園の連携の核になる役割を担い、市全体の幼児教育の質の向上にかながればと考える。

問 公立幼稚園の民営化をどうとらえるか。

教育部長 3歳児保育の導入など特色ある公立幼稚園を目指していく必要があると今は考える。教育委員会の考えも大切だが市の総合的施策の中で決めていく必要がある。



▲笠懸幼稚園

要がある。

市長公室長 民間で特色ある幼稚園を作っていたいただき、市が助成して運営できるのであれば、それも方策かなと。教育委員会の考えもあるので今後の検討課題に。

農作物の地産地消で 安心安全



大間々町
飯塚 信子

安心、安全とは食ばかりではないが、最近の食品偽装の問題を聴く度に残念に思います。以前はまちの中にも沢山の農家があったが今では数える程になってしまいました。生活のため職の転換をはかったからです。しかし次代を担う子ども達の食の安心、安全を考え地域の人が安心して食べていただける農作物を残っている私たちが頑張っ作っています。農業も国の基準を守り、県の指導のもとに正しく使い安全な農作物で産直活動をしています。

東町の美観スポット



東 町
神山 庸司

東町には写真撮影のスポットが沢山有りますが、市のパンフには出ていないスポットを紹介してみます。

- ①三境林道線から国民宿舎を入れて草木湖の俯瞰撮影
- ②童謡館脇から入る座間林道線からの草木湖の四季。
- ③この林道の一番高いところから見た県庁庁舎ビルを中心とした前橋の夜景。
- ④西山林道沿いの春の若葉の紅葉。シャクナゲ・ヤシオツツジ・シロヤシオ・ヤマツツジなどが一緒に見られる袈裟丸山。百万ボルトの送電鉄塔下から見た日の出の景色。送電線の輝きが特別の美しさで迫ってきます。是非東町の美観を撮りに来て下さい。

※高い所から見下ろす

身障者にやさしい まちづくりを



笠懸町
小黒 利夫

みどり市になって、私達身障連も、旧3町村の団体が一つになって活動を始めました。

最近、庁舎やスーパーなどいろんな場所で身障者の駐車場がより分かりやすく設置されてきました。これは、佐賀県にパーキングハミットという制度があった、ぜひみどり市にも思い、議員や社会福祉協議会に相談し、それが形となりました。私達の日常生活が営みやすくなったことに感謝しています。

また、最近ではセルフのガソリンスタンドが増え、自給での給油が大変です。セルフでも手伝ってもらえるよい方法はないものかと考えています。

編集後記

「議会だより」は、定例会の審議結果や特別・常任委員会の活動など、市議会全般にわたる活動状況を市民の皆様にお知らせするため、年4回発行している。平成20年度の発行経費は印刷費他376万6千円が予算計上されている。

編集委員は議員8人、各定例会後3〜4回の編集会議でレイアウトの検討や原稿校正を行い、本印刷の運びとなる。

この度の10号は、12月定例会で審議可決された市民生活関連条例や補正予算、常任委員会活動報告、特に経済不況のなか、市内中小企業への緊急対策である「みどり市中小企業融資条例」が会期延長し可決されたことなどが掲載されている。

広報活動を通して、市民皆様の議会活動へのご理解

次回定例会（予定）

2月24日(火)から
午前9:30～

皆さんの傍聴をお待ちしています。
問い合わせ ☎ 76-1970

と開かれた議会実現に向けて微力ながら努力したい。

（金子 實）

編集委員

委員長	蓮 孝道
副委員長	宮崎 武
委員	坂本 正幸
	原田 好雄
	新井 巖雄
	金子 實
	上岡 克己